



## 住みやすい町を目指して…③1

# 自然豊かな寄の魅力の虜になり移住生活

(株)DASI 代表取締役、猟師 <sup>みすの</sup>御簾納 聖子(田代在住)

### 寄・移住生活

東京で出会ったハンターに連れてきていただき、寄を知ったのが3年ほど前になります。狩猟免許と銃砲所持許可を取ったばかりの新米猟師を、寄猟友会の方々が暖かく迎え入れてくださいました。狩猟のために何度か訪れているうちに自然豊かな寄の魅力の虜になってしまい、東京から寄に移住して早2年が経とうとしています。

### 寄の魅力

丹沢山塊の麓にひっそりと、隠れ里のような桃源郷のような……。いたる所にサラサラと美しい水が流れる寄は、たくさんの人に知ってもらいたい、でも秘密にしておきたい、そんな場所です。

ちょっと買い物というには不便な土地ですが、都心まで約1時間半なのは都内で仕事がある際に便利です。山があり川が流れ、海もすぐそこなのはアウトドア好きにはたまらない立地です。

なにより四季折々の自然を身近に感じることができるとは、何ものにも代え難く、移住してきて良かったと心から思っています。

### これからの狩猟

私が移住するきっかけとなった「狩猟」は残酷であり、過酷であり、時に自らも生命の危機にさらされます。凍えるような冬の中でジッと獲物を待つことは、普段の生活では全く経験することの無い緊張を感じさせてくれ、獲物を撃ち、運び、捌き、食べる行為からは「生きる」とはどういうことなのか考えさせられます。猟が終わり、仲間と共にその日を振り返りながら囲む食卓は格別です。

昔は趣味やスポーツとして親しまれてきた狩猟ですが、今では環境保全や野生動物管理に必要不可欠なものとなっています。現在、私は映像制作やデザインを生業としていますが、獲ったシカやイノシシを無駄なく活用できるような事業も進めたいと考えています。

また、全国的に深刻な問題となっている、野生動物がもたらす農林業被害や猟師不足を少しでも解消できるよう様々な活動も計画しています。寄の豊かな自然を守り野生動物と共生できるよう、松田町の皆さんが狩猟や里山保全に少しでも関心を持ってくださると嬉しいと思っています。



山中で獲物を待つ筆者の御簾納さん

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

## 皆さんの傍聴をお待ちしております! 第4回定例会は12月5日(火)

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
大館	齋藤	小澤	中野	飯田	平野
秀孝	永	啓司	博	一	由里子

議会広報広聴常任委員会

意見をお寄せください。  
(平野)

この号では、28年度の決算審査報告とともに、議会基本条例の素案を掲載しております。開かれた議会に向けての一步となるこの条例の素案について、ぜひご意見を

松田町議会では、2年毎に役職の改選が行われます。9月の定例会最終日に新たな役職が決まり、議会広報広聴常任委員会も新しいメンバーでスタートしました。この度、委員長を仰せつかり、先輩方のご指導のもと、初めての議会だよりの編集作業に臨みました。

